

はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2013年12月発行

今年もいよいよ師走。もう少しでまた新しい年がやって来ます。今年の「はもりあ四日市」は、防災をキーワードに男女共同参画の必要性について考えてきました。『防災とまちづくり、そして男女共同参画』の取り組みは、まだまだ続きます。皆さんも、年末・年始の家族が集まる機会に、是非、わが家の防災、わがまちの防災を話題にしてみてください。年末の大掃除の機会を利用して、家具の転倒防止を徹底的に行うのもいいかも(*^*)v

「防災とまちづくり、そして男女共同参画」

男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針…説明会を開催しました

情報紙「はもりあ」63号でお知らせしました『防災とまちづくり、そして男女共同参画』事業の第2弾として、11月7日に、今年5月に内閣府がまとめた「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」の説明会を、内閣府より男女共同参画推進官の澤井景子さんをお招きして開催しました。



100名近い参加者で、会場は熱気に包まれました。自治会、自主防災組織の方など、現在、地域で活動してみえる方々に多数参加いただき、これからの各地域での取り組みに、すぐにでも活かしていただけるのではないかと期待が高まる会となりました。

市の吉川危機管理監のあいさつの後、初めに、安心できる避難所づくりのためのDVDを見ました。

このDVDは、青森県男女共同参画センター「アピオあおもり」が作成したもので、発災から3～4日以降の避難所づくり・運営のポイントを男女共同参画の視点からまとめたものです。とても具体的で分かりやすいと好評でした。

その後、澤井さんからは、この取組指針が、東日本大震災において、衛生用品等の生活必需品が不足したり、授乳や着替えをするための場所がなかったり、「女性だから」ということで当然のように食事準備や清掃等を割り振られた避難所も見られたといった現実が背景となって作成されたものであること、そして、「事前の備え・予防」、「発災直後の対応」、「避難所の運営」、「応急仮設住宅」、「復旧・復興」といった各段階で必要な男女共同参画の視点についてご説明いただきました。

指針にある「平常時からの男女共同参画の推進が防災・復興の基盤となる」こと、そして「『主体的な担い手』として女性を位置づける」ことが大切であるという基本的な考え方には大いに賛同し、これからの四日市での防災活動に反映できるよう、取り組みを進めていかなければという思いを新たにしました。

【DVD】安心できる避難所づくり

～男女共同参画の視点を避難所運営に～
<視点>

東日本大震災では、避難所生活の中で亡くなった関連死の方が約2000人強。また、乳幼児を抱えた家族や女性が避難所生活で、男性とは違った困難さを抱えながら生活していました。女性に優しい避難所は、多様な人たちにとっても安心できる避難所につながります。

避難所を運営するためのポイント

運営組織の各班に必ず女性を入れること
(できれば複数)

物事を決める際には男女を交えた、多様な人たちの話し合いの場を持つこと

固定的な役割分担意識に囚われず、特定の人だけに負担がかからないように役割分担に工夫すること

この説明会では、「備蓄チェックシート」・「避難所チェックシート」も掲載した取組指針の啓発用パンフレットを配布しました。DVDとあわせて、地域の自主防災組織や自治会、グループ等の学習会などに是非ご活用ください。

DVDの貸出、パンフレットご希望の方は、「はもりあ四日市」までお問い合わせください。もちろん学習会開催のご相談にも応じます。

私と政治と男女共同参画

男女共同参画人材リスト登録者および四日市男女共同参画センター登録グループを対象とした研修会ですが、一般の方も参加していただけます。

今回は、末松則子鈴鹿市長を講師にお迎えして、ご自身の政治に関わってきた経験や、内閣府の男女共同参画会議監視専門調査会専門委員としての経験から、女性が意思決定の場に参画する意義や思いを伺います。



すえまつ のりこ
末松 則子さん
(鈴鹿市長)

日 時：平成26年1月18日(土)14:00～16:00

場 所：本町プラザ 1階ホール

講 師：鈴鹿市長 末松 則子さん

定 員：100人

申込方法：住所、名前、電話番号、講座名、託児の有無（託児希望の場合は、お子さんの名前と年齢）を電話・FAX・メールで、はもりあ四日市へお申込みください。

参加費：無料

その他：託児あり無料（6カ月～小学3年生程度、1/10までに要申込）

お問合せ：はもりあ四日市まで

ワーク・ライフ・バランス^{りょく}方向上セミナー 「経営者も従業員も満足する企業経営」を開催しました！

【部 鼎談の報告】

1月6日に四日市市総合会館で開催したワーク・ライフ・バランス^{りょく}方向上セミナーでは、「経営者も従業員も満足する企業経営」をテーマにワーク・ライフ・バランスの先進な取り組みを行っている旭電気株式会社代表取締役社長の前田光久さんと一般財団法人食品分析開発センターSUNATEC 理事・センター長の小林政人さん、そして、コーディネーターに厚生労働省政策評価に関する有識者会議委員であり東レ経営研究所 研究部長の渥美由喜さんをお迎えし、お話を伺いました。

2社の取り組み内容

旭電気株式会社

- ・有給休暇取得率アップに向け、正職員・パートが分け隔てなく取得可能な誕生日休暇を制定
- ・有給休暇と仕事の効率性を高めるために半日有給休暇を導入
- ・インフルエンザの予防接種にかかる費用を会社が負担する制度等

一般財団法人食品分析開発センターSUNATEC

- ・残業削減に向けて、業務改善について話し合うプロジェクトチームを発足
- ・消化しきれなかった有給休暇を積み立てることが出来る有給休暇ストック制度を導入
- ・自身のライフステージに応じて働き方（正職員、契約職員、臨時職員）が自由に選択できる仕組み作り
- ・小学校の低学年までの子を受け入れる事業所内託児所の開設を予定（2015年1月）等



< 部 鼎談の様子 >

2社とも、「社員が働きやすくなる・働き続けられる」ための取り組みが、社員の力を最大限に発揮できる環境整備につながっており、それでもまだ改善できるところがたくさんあるとお話でした。また、渥美由喜さんは「ワーク・ライフ・バランスの取り組みは、もともとゆとりのある会社に取り組んでいるように思われがちだが、仕事量が多い会社こそ取り組んで成功を収めているので、ぜひ、みなさんも取り組んで欲しい」と話されました。最後に、前田さんから「良い会社を作るためには従業員を大切にしてほしい」、また、小林さんから「『お互いさま』の精神を持ちカバーし合うことで絆が強くなるので、ぜひ、ワーク・ライフ・バランスを進めて欲しい」というエールが、参加者へ送られました。

【部 研修会の報告】

部に引き続き、渥美由喜さんを講師に「タイム・マネジメントと業務改善の手法」の研修を行いました。

前半の講義では「ワーク・ライフ・バランスは、早く帰ることだけが目的ではなく、本当に必要なことや自己研鑽などに時間やエネルギーを使うことが目的であり、それ以外に割く時間をいかに減らすことが出来るかが重要である」というお話がありました。後半はワークショップで、3チームに分かれて、各々の業務上の課題を出し合い、その課題について改善策の検討を行いました。

参加者からは「ワーク・ライフ・バランスの実現のためには、タイムマネジメントが重要であり、その考え方について理解できた。」などの意見がありました。



< 部研修会の様子 >

相談室 から

DV防止法で守られる被害者の対象が拡大されます

交際相手からの暴力が社会的に問題になり、被害者やその親族が加害者によって殺害されるという事件が起きています。同居している（していた）交際相手については、「ストーカー行為等の規制等に関する法律」（ストーカー規制法）の適用も難しく、刑法の傷害罪や暴行罪による事件化も困難な場合があります。そこで、**被害者の救済を図ることを目的に、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」（DV防止法）が改正され、平成26年1月3日から施行されます。**

被害者の対象

これまで

事実婚・結婚中・離婚後の
配偶者

改正後

事実婚・結婚中・離婚後の
配偶者
同居中またはかつて
同居していた交際相手
(同居期間は問わない)

DV防止法 とは

配偶者からの暴力に関する相談や保護、支援体制を整備し、被害者を守るための法律で、平成13年に施行され、平成16年、19年と改正されてきました。以下のことが定められています。

「配偶者」「暴力」の定義について

いろいろな機関での相談について

配偶者から逃げるための一時保護について

自立した生活を送るための自立支援について

暴力を発見した場合の通報について

保護命令について

被害者に重大な危害を及ぼす恐れがある場合、裁判所において被害者からの申し立てにより、加害者に「保護命令」を出します。具体的には、接近禁止命令や電話等禁止命令、退去命令、子または親族等への接近禁止命令があります。命令に違反すれば、罰則が科せられます。

今月のキーワード

105位

この数字は、世界経済フォーラム(WEF)が発表した、2013年の「男女格差報告」における日本の順位(136か国中)です。前年より4つ順位を下げています。

男女格差(ジェンダー・ギャップ指数)は、経済、教育、政治、健康の4つの分野で分析されており、2013年日本は、経済で104位、教育で91位、政治で118位、健康で34位、トータルで105位でした。政治の順位が低いのは、女性の議員や大臣の数が少ないことから想像はつくと思いますが、経済や教育でなぜこんなに順位が低いのでしょうか?

経済では、女性の管理職の割合や収入が男性と比べて少ないことが原因です。教育では、識字能力や高校までの進学率は、男女差がほとんどなく1位でしたが、大学や専門学校の進学率で男性よりも女性のほうが低かったことから、順位が下がっています。

日本は豊かな社会と言われていますが、男女格差はまだ残っているのが現状です。

男女
共同

さんかくeye

このコーナーでは、はもりあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話を聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。もちろん、『男女共同参画』の視点★を通してね。

高畑勲監督作品「かぐや姫の物語」を見てきました。

この作品は原作のストーリーを忠実に描きながらも、その時々のかぐや姫の思いが表現されていました。

姫が小さい頃は、近所の子ども達と虫をつかまえ、野山を駆け回り、いきいきと田舎生活を送っていました。やがて都に移っての“姫教育”は、走ってはダメ、庭の池で泳いではダメ etc. かぐや姫には耐えられない日々でした。幼い頃に一緒に遊んだお兄ちゃんに、恋心をいだが叶うこともなく、悲しみに押しつぶされ、初潮をむかえると「眉をおとす」「お歯黒にする」という風習に対して、「眉毛がなかったら汗が目に入るじゃない」、「笑ったとききれいな白い歯がみえないじゃない」と反論し、「お姫様には、良い縁談がくるし、汗をかくこともしないし、大きな口をあけて笑うこともありません」と一笑した家庭教師の言葉もはねのけ、自分の意思を押し通した姫に、現代女性にも通じる強さを感じました。



「日本最古の物語」の中で、「女性の自立」が所々に描かれた映画でした。【担当: KY】

トピック

～ 西日野にじ学園 インターン ～



11月12日(火)から15日(金)まで、4人の生徒さんが「はもりあ四日市」で職業体験をしました。色々な仕事をさせていただきました。4日間お疲れ様でした。ぜひ今度は遊びにきてくださいね(^)

登録グループイベント情報

H26

1月30日(木) 子育ておしゃべり会 今回のテーマ「夫に、妻に腹が立つこと」
 いつも家族や周りの話の聞き役、お世話係になってしまっているあなたに、自分の本当の気持ちを話し、聞いてもらう場所がこの「だめママクラブ」です。
 少し自分を大事にする時間、自分を見つめる時間を一緒にしませんか？
 時 10:00～12:00 所 本町通り商店街 コミュニティサロンいせや
 費 300円(茶菓子代) 他 予約はいりません。お子様連れでどうぞ！
 問 子育ておしゃべり会 だめママクラブ
 090-6091-8581(北川) 090-3422-5087(豊田)まで

2月 5日(水) お料理講習会「おうちで中華」・・・シューマイ、エビマヨ、トマトと卵のスープ他
 時 9:45～13:00 費 1000円程度 定 24名
 所 四日市友の家(智積町大字大谷2910-4) 他 託児有(1歳以上)
 申・問 四日市友の会 島原ゆき子 TEL 090-1479-8455まで

登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループを紹介します。

今回は

AHよっかいち

さんです。代表 吉本まゆみ

連絡先 mayumi-y555@nifty.com



～ 怖れを手放し こころをぼかぼかと温める試みをご一緒にしませんか～

アティテューディナル・ヒーリング(AH)というのは、心の平和を唯一の目的とし、自分の責任で心の姿勢(アティテュード)を選び取っていくというプロセスです。

「こころの平和を感じたい、こころのやすらぎを感じたい、こころの静けさを感じたい、穏やかなこころを持ちたい、自分を好きになりたい、怖れを手放したい、もうこれ以上人を恨み続けたくない」どれか一つでもピンとくる方は、グループで実際に話す(話したくない方は話さなくても大丈夫!)、聴くを通して自分の怖れや考え方に向き合い、今、この瞬間の声を聴いてこころの平和を手に入れませんか? 行きつ戻りつ、立ち止ったままも含めてさまざまなプロセスを支え合うためのグループです。

隔月に1回金曜日の夜(18:30～20:30) はもりあ四日市の会議室で活動しています。
詳しくは、メールで吉本までお気軽にお問合せ下さい。

あとがき はもりあ四日市の清水です。

西日野にじ学園のみなさん、職業体験お疲れさまでした。これからの活動に役立ててもらえると嬉しいです。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml